

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進会議において家族の毎回参加に至っていない。	複数の家族が出席できる日程を調整してみたり、現場職員も参加して地域関係者との関わりを深め会議を身近に感じるようにしていく。	おたよりや面会時に参加者を呼びかけたり、現場職員も参加できるよう勤務表に予め組み込む。	3ヶ月
2	6(5)	各ユニットの入り口や共同トイレなど鍵を常時している。また、皮膚疾患のためミトン着用になっている利用者もいる。	身体拘束ゼロを目標とする。	他ホームの取組状況を情報収集し、身体拘束の廃止を目指す。	6ヶ月
3	10(6)	利用者と職員が団欒している様子が伺えるようにして、家族が気軽に声かけし、話しやすい雰囲気づくりの働きかけ。	利用者と職員の団欒と家族が話しやすい雰囲気づくりを目標とする。	利用者と職員が団欒している場面を今まで以上に多くしていくように努めると共に家族へは、面会時などに職員から積極的に挨拶を交わした上で、利用者の近況報告等伝え、話しやすい雰囲気作りをしていく。	3ヶ月
4	26(10)	介護計画の見直し作成は、定期では6カ月ごと、又は随時行っている。	介護計画は、利用者、家族の意向を毎日反映し記載することと、3カ月ごとの見直し作成を行う。	職員にて話し合いの結果、平成24年1月以降、3カ月ごとの介護計画の見直しをするようにしていく。	4ヶ月
5	35(13)	年2回夜間想定で消防署員立ち合いの防災訓練を行っているが、昼間を想定した訓練と多くの利用者が参加した自主防災訓練の実施を期待したい。	昼間想定 of 自主防災訓練の実施とホーム独自の備蓄ができるようになる。	平成24年度より年2回の内1回は昼間想定 of 自主防災訓練を予定し、備蓄については、他ホームを参考にした対応をして行く。	6ヶ月
6	40(15)	ケアの質の向上のためにも検食者以外で一緒に食事ができる職員の検討。	利用者と同じ立場で食事ができる職員の確立。	他ホームを参考にした対応をして行く。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。